

国民は決してあきらめない

2月19日の夜、総がかり行動実行委員会主催の集会で7800人が国会議員会館前に集まりました。

毎月19日は定例だが、この日ばかりは違う。全国の仲間が積み重ねてきた運動や「野党は共闘」の声が政治に届いた歴史的な日。

戦争法案が強行可決されてから5ヶ月が経過。しかし、国民は決して諦め

ませんでした。こういう日が来ることを確信していたのです。まさに歴史に刻まれる日となりました。

野党から民主党・枝野幹事長、共産党・山下書記局長、社民党・又市幹事長、維新の党・初鹿鹿博衆院議員が挨拶。生活の党からは、メッセージが寄せられました。

安保法制廃止、立憲主義の回復

一つの一点で大同一点になりました

民主党・枝野幹事長

今日、野党五党で安保法の廃止法案を衆議院に共同提出をすることができました。

た。次の4つの点で、野党五党の党首が一致を致しました。①安保法制廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とす



る。②安倍政権の打倒をめざす。③国政選挙で現与党及びその補完勢力を少数に追い込む。④国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力

五野党合意事項

- ①安保法制廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回を共通の目標とする。
- ②安倍政権の打倒をめざす。
- ③国政選挙で現与党及びその補完勢力を少数に追い込む。
- ④国会における対応や国政選挙などあらゆる場面でできる限りの協力を行う。

社民党・又市幹事長

枝野さん、山下さんから、今日の党首会談、4項目の確認、それを具体化するために枝野さんを中心にしながら、幹事長、書記局長で具体的な中身を詰めていくことも党首会談では確認をしました。

ようやく皆さん、今までは、残念ながら、安倍一強体制と言われた。それに野党側が対抗軸・選択肢を示してこなかった

与党の野望を打ち砕こう

ために、一強他弱と言われてきた。野党五党が本気になって選挙協力をやっていく。

参議院選挙まであと4ヶ月あります。32の一人区を中心しながら候補の一本化をはかって、与野党逆転を果たして彼らの野望を打ち砕っていく。政党五党だけでなく、皆さんと連携・協力して全力を上げて闘っていく。

九条 かながわ

発行 九条かながわの会

2016年2月25日 No.9

〒231-0012

横浜市中区相生町1-15 第二東商ビル4F B号

☎・fax 045-212-9397

E-mail: article9@nifty.com

http://homepage2.nifty.com/article9/

戦争法廃止、立憲主義の回復 大きな大義

共産党・山下書記局長

今日は、安倍政権が憲法違反の安保法制（戦争法）を強行しようとする5ヶ月の日になります。

先ほど、枝野民主党幹事長からお話があったように、今日、民主党、共産党、維新の党、社民党、生活の党、

五野党揃って戦争法廃止法案を共同提出しました。

党に対し、速やかに、この法案の審議に入りなさい。

五野党の党首会談が行われて、そこで安保法制の廃止と集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を五野党

五野党揃って戦争法廃止法案を共同提出しました。

「野党は共闘！」この皆さんの声に応えることができました。

早速、自民党は私たちのこの野党の動きに対して、「究極の野望だ」と攻撃しております。冗談ではありません。

五野党揃って戦争法廃止法案を共同提出しました。

憲法違反の安保法制（戦争法）を踏みにじって暴走する安倍政権を打倒する。野党にとつてこれほど大きな大義

憲法違反の安保法制（戦争法）を踏みにじって暴走する安倍政権を打倒する。野党にとつてこれほど大きな大義

みなさんと一緒に野党五党引き続きスクラムを

ちり固めながらつちり選挙に勝って、安倍政権を倒して、安保法制・戦争法を

きれいさっぱり葬り去ろうではありませんか。

△△△△

茅ヶ崎市民文化会館ほか

- 分科会 9:30~12:00
- ◆改憲の動きと参院選
- ◆自衛隊はいま
- ◆脱原発・再生エネルギー
- ◆育鵬社の歴史・公民教科書問題
- ◆戦争法とマスコミ
- ◆日本と世界で生かす平和的生存権と平和への権利
- ◆憲法24条の危機 家族を考える
- ◆平塚空襲の展示あります
- 全体会 13:00~
- パフォーマンス MINX!! (ミンクス)
- お話 小林 節 さん (慶応大学名誉教授)
- お話 鎌田 慧 さん

6月4日(土)

今の政治 誰のためにもならず

維新の党の初鹿明博です

民主主義、立憲主義を破壊する安倍政権対民主主義を守る、立憲主義を守る野党連合がこれから闘っている。国民の皆さまがこれの後押しする。そういう選挙がこれから行われていく。私たち野党これからは、一致結束をして、安倍政権を倒す闘いを行い、安保法の

廃止、憲法違反の閣議決定の撤回をしっかりと勝ち取っていきたく思います。

しかし、それだけではありません。安倍政権が進めている今の政治です。一体、誰のために行っているのでしょうか。アベノミクスの

く、2015年の大企業の実質賃金は、マイナス0.9%と下がっている。格差は、54億円です。でも国民

の役員報酬、一番もらった人は、54億円です。でも国民の実質賃金は、マイナス0.9%と下がっている。格差は、54億円です。でも国民

後押しする。そういう選挙がこれから行われていく。私たち野党これからは、一致結束をして、安倍政権を倒す闘いを行い、安保法の

後押しする。そういう選挙がこれから行われていく。私たち野党これからは、一致結束をして、安倍政権を倒す闘いを行い、安保法の

後押しする。そういう選挙がこれから行われていく。私たち野党これからは、一致結束をして、安倍政権を倒す闘いを行い、安保法の

後押しする。そういう選挙がこれから行われていく。私たち野党これからは、一致結束をして、安倍政権を倒す闘いを行い、安保法の